

# Quest® NetVault® Backup Plug-in for MySQL 12.0

## リリース・ノート

2018年6月

これらのリリース・ノートには、Quest® NetVault® Backup Plug-in for MySQLリリースに関する情報が記載されています。

トピック：

- このリリースについて
- 拡張機能
- 既知の問題
- システム要件
- 製品ライセンス
- アップグレードおよびインストールの手順
- 追加リソース
- グローバリゼーション
- 企業情報

## このリリースについて

QuestNetVault Backup (NetVault Backup) Plug-in for MySQL (Plug-in for MySQL) 12.0は、拡張機能が含まれたマイナー・リリースです。製品の詳細なドキュメントは下記サイトからご覧いただけます。  
<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents>

## 拡張機能

次は、NetVault Backup Plug-in for MySQL 12.0に実装されている拡張機能のリストです。

表1. 一般的な拡張機能

拡張機能	問題ID
データベース・コピー全体のバックアップのオプションを追加しました。個々のテーブルのバックアップではなく、データベース全体をバックアップする場合に使用できます。	DNMYSQL-389
MariaDB 5.1および5.5のサポートを追加しました。	DNMYSQL-395、 DNMYSQL-396

# 既知の問題

サードパーティ製品に起因する問題を含む、リリース時に確認されていた問題は以下のとおりです。

表2. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題ID
MySQLのバグ69953が原因で、MySQLのロギングが有効になっている場合、MySQL Server 5.5または5.6へのリストアを実行すると、既存のslow_logテーブルがmysqlデータベースにドロップされません。そのため、リストア中、同じテーブルのリストアに失敗します。slow_logテーブルが環境に必要な場合は、リストアの完了後にslow_logテーブルを手動で再度作成してください。この問題は、MySQL 5.7で修正されます。	DNVMWARE-319 (30852)
バックアップ・データは、MySQL ServerからNetVault BackupMedia Managerに直接ストリーミングされるため、データベース名に特殊文字を使用すると、シーケンス・コマンドとして解釈され、バックアップ・データの整合性に影響します。 <b>対処法</b> ：問題を予防するため、データベース名に次の文字を使用しないでください。\$ ^ = @ # % +	DNMYSQL-379

表3. MySQL Standard/Communityの既知の問題

既知の問題	問題ID
<b>lower_case_table_namesシステム変数のデフォルト設定がMac OS XのMySQL動作に影響する</b> ：Mac OS XプラットフォームでのMySQLの大文字と小文字を区別する不整合な動作は、プラグインのバックアップのリストア機能に影響を与えます。この不整合に対応するために、Mac OS Xでプラグインを使用する場合は、次の点に注意してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>lower_case_table_names</b>システム変数を1に設定している場合は、小文字のみ、大文字のみ、または大文字と小文字の両方を使用して作成したデータベース名に対して、増分リストアが正常に機能します。また、実際の名前がどのように作成されたかにかかわらず、NetVault BackupConsoleには小文字を使用したデータベース名が表示されます。</li><li>• <b>lower_case_table_names</b>システム変数を2に設定している場合は、Mac OS Xのデフォルト設定では、増分リストアが正常に動作するのは小文字を使用して作成したデータベースのみです。また、NetVault BackupConsoleには作成された名前と同じ形式でデータベース名が表示されます。</li></ul> lower_case_table_namesシステム変数の値を変更した場合は、MySQL Serverを停止してから再起動し、変更が実装されていることを確認します。このMySQL関連の問題については、次を参照してください。 <a href="http://dev.mysql.com/doc/refman/5.0/en/identifier-case-sensitivity.html">http://dev.mysql.com/doc/refman/5.0/en/identifier-case-sensitivity.html</a>	DNMYSQL-133 (18430, MYG-235)
<b>[MySQLレプリケーションを可能にする]を選択し、レプリケーションの設定を行っていないと、バックアップに失敗する</b> ：[設定]ダイアログ・ボックスの[MySQLレプリケーションを可能にする]チェック・ボックスを選択し、レプリケーションの設定を行わないと、バックアップは失敗します。この問題を修正するには、[設定]ダイアログ・ボックスの[MySQLレプリケーションを可能にする]チェック・ボックスをオフにするか、レプリケーションを設定してからバックアップ・ジョブを再実行してください。	DNVMWARE-241 (21629)
MIXEDバイナリ・ログ形式を使用している環境では、増分バックアップと差分バックアップのNetVault Backupバイナリ・ログに警告が記録されます。	DNMYSQL-376

表4. MySQL Enterprise Backup (MEB) の既知の問題

既知の問題	問題ID
<p>一定の条件で、すべてのInnoDBテーブルがバックアップされる：以下の条件のいずれかに適合すると、MySQLインスタンス内のすべてのInnoDBテーブルがバックアップされます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ただし、テーブルがバックアップ用に明示的に選択され、テーブルがInnoDBストレージ・エンジンまたはその類ではない場合に限りです。 <p>例：2つのデータベースを含むMySQLインスタンスが配置されています（DB1およびDB2）。各データベースには2つのテーブルが含まれます。DB1にはT1_InnoDBとT1_MyISAM、DB2にはT2_InnoDBとT2_MyISAMが含まれます。T1_MyISAMとT2_MyISAMをバックアップすると、T1_InnoDBとT2_InnoDBもバックアップに含まれます。InnoDBテーブルの1つを含めると、InnoDBテーブルのみがバックアップされます。データベースの1つを選択すると、データベース内のテーブルのみがバックアップされます。</p> </li> <li>いくつかまたはすべてのデータベースがバックアップに選択されると、すべての関連InnoDBテーブルがバックアップから除外されます。 <p>例：2つのデータベースを含むMySQLインスタンスが配置されています（DB1およびDB2）。各データベースには2つのテーブルが含まれます。DB1にはT1_InnoDBとT1_MyISAM、DB2にはT2_InnoDBとT2_MyISAMが含まれます。DB1とDB2をバックアップし、T1_InnoDBとT2_InnoDBを除外すると、T1_InnoDBとT2_InnoDBもバックアップに含まれます。2つのInnoDBテーブルのうち1つだけを除外すると、InnoDBテーブルのみがバックアップされます。</p> </li> </ol> <p>この動作は、現在のMEB（mysqlbackupユーティリティ）の動作に反映されています。今後のリリースで変更される可能性があります（3.8.1以降）。</p>	DNVMWARE-275 (22383)
<p>このプラグインは、クラスタ環境でのMEBベースの方法のバージョン3.12および4.0の使用には対応していません。これらのバージョンが使用できるのはスタンドアロン環境のみになります。</p>	DNVMWARE-363 (32199)

## システム要件

Plug-in for MySQL 12.0をインストールする前に、お使いのシステムが『Quest NetVault Backup互換性ガイド』（<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents>で入手可能）に記載の要件を満たしていることを確認してください。

## アップグレードと互換性

- Plug-in for MySQL 12.0では、NetVault Backup 11.4.5以降が必要です。サポートされるプラットフォームの詳細については、『QuestNetVault Backup互換性ガイド』を参照してください。
- MySQLのアップグレードと新規インストール**：MySQLのバグ68807に記載されているとおり、MySQL 5.6ではmysql\_install\_dbが/etc/my.cnfを無視します。MySQL 5.6では、InnoDB統計テーブル（slave\_master\_info、mysql/slave\_relay\_log\_info、innodb\_index\_stats、innodb\_table\_statsおよびslave\_worker\_info）を作成し、MySQLのインストール・ディレクトリ（basedir）に追加するため、「my.cnf」ファイルに含まれるinnodb\_data\_file\_path = ibdata1:2000M;ibdata2:10M:autoextendオプションと競合する場合があります。file\_pathオプションにより、InnoDBファイルはbasedirよりも1つ上のディレクトリ・レベルに配置されるため、MySQLエラー・ログに次のエラーが表示される可能性があります。

```
"[Warning] InnoDB: Cannot open table mysql/slave_master_info from the internal data dictionary of InnoDB though the .frm file for the table exists.See http://dev.mysql.com/doc/refman/5.6/en/innodb-troubleshooting.html for how you can resolve the problem."
```

このエラーを修正するまで、プラグインはメインのMySQLデータベースを参照することができないため、次のエラーが表示されます。"Failed to fetch row from query result: showtable status like 'innodb\\_index\\_stats'"

また、バックアップ・ジョブが応答を停止する原因となる場合もあります。

このオプションはMySQLの旧バージョンの「**my.cnf**」推奨サンプルファイルに含まれているため、この問題は、通常、アップグレードまたは旧バージョンの「**my.cnf**」ファイルを保持させた新規インストールで発生します。Questでは、新規のインストールにはfile\_pathオプションを使用しないこと、またアップグレードの際はibdataファイルをbasedirに移動することを推奨しています。サポートが必要な場合は、MySQLサポートにお問い合わせください。(22367)

- **NetVault Backupサーバーの9.2からのアップグレード** : NetVault Backupサーバーを9.2から11.4.5以降にアップグレードすると、Plug-in for MySQLで検出されるエラー条件に設定した設定値がデフォルト設定に戻ります。プラグインで検出されるエラー条件の設定を変更した場合は、Questではプラグインの再インストール、設定のやり直し、およびMySQLバックアップ・ジョブの再作成を推奨しています。

## 製品ライセンス

NetVault Backupサーバー環境でライセンス・キーを取得するには、メインNetVault BackupサーバーのNetVaultマシンIDを確認します。また、OracleやMySQL、PostgreSQL、SQL Server、Exchangeなどのアプリケーション・プラグインを実行しているクライアントのマシンIDも確認する必要があります。

NetVault設定ウィザードを使用して、製品のライセンス・キーをインストールできます。代わりに [クライアント管理] ページからライセンス・キーをインストールすることもできます。

- マシンIDの取得
- 設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール
- [クライアント管理] ページからのライセンス・キーのインストール

## マシンIDの取得

- 1 NetVault BackupWebUIを起動します。
- 2 [ナビゲーション] パネルで、[クライアント管理] をクリックします。
- 3 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 4 [クライアント表示] ページで、マシンIDと正確に同じものが [クライアント・サマリ] テーブルに表示されます。

## 設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション] パネルで、[ガイド付き設定] をクリックします。

- 2 [NetVault設定ウィザード] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 3 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [ライセンス・キー文字列の入力] ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。  
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。

## [クライアント管理] ページからのライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション] パネルで、[クライアント管理] をクリックします。
- 2 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 3 [クライアント表示] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 4 [ライセンスのインストール] ダイアログ・ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。  
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。
- 5 ダイアログを終了するには、[閉じる] をクリックします。

## アップグレードおよびインストールの手順

アップグレードおよびインストール手順の詳細については、『QuestNetVault Backup Plug-in for MySQLユーザーズ・ガイド』を参照してください。

**i** | **重要**：プラグイン名が変更されているため、4.4より前のバージョンを使用している場合は、必ず既存のプラグインを削除してから新しいバージョンをインストールしてください。そうすることで確実に、前のプラグイン名が入った項目が削除されてから、新しい名前の項目がインストールされます。

## 追加リソース

以下から追加情報を入手できます。

- [オンライン製品ドキュメント](#)
- [NetVaultコミュニティ](#)

# グローバル化

ここでは、北米以外の地域のお客様に必要な、この製品を英語以外の言語設定でインストールして構成する方法を説明します。このセクションで説明する内容は、他の製品マニュアルに記載されているサポート対象プラットフォームや設定などの情報に代わるものではありません。

本リリースでは、シングル・バイトまたはマルチ・バイトのあらゆる文字セットに対応しています。本リリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じ文字エンコードまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定し、同じロケールおよび地域オプションを使用するようにインストールする必要があります。このリリースを利用できる対象地域は次のとおりです。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ、極東アジア、日本。双方向のテキスト（アラビア語とヘブライ語）をサポートしています。

本リリースは次の言語にローカライズされています：中国語（簡体）、フランス語、ドイツ語、日本語、韓国語。

## 企業情報

### 弊社の社名は単なる名前ではありません

弊社は、お客様が情報技術をより有効に活用できる方法を常に探しています。そのために、IT管理にかかる時間を節約し、ビジネスの革新に多くの時間を費やすことができるようなソフトウェア・ソリューションをコミュニティ主導で構築しています。データ・センターの近代化とクラウドの早期利用を支援し、データを活用したビジネスを成長させるために必要な専門知識、セキュリティ、アクセシビリティを提供します。Questは、革新の一環としてお客様をグローバル・コミュニティに招き入れ、さらに顧客満足度を確保するために努力しながら、お客様の現状に実際にインパクトを与え、誇らしい遺産を残すことができるソリューションを提供し続けています。弊社は新しいソフトウェア会社へと変革することで現状に挑戦しています。弊社は、お客様のパートナーとして、お客様主体でお客様に適した情報技術を設計できるように精力的に努力しています。これは弊社の使命であり、お客様と一緒に取り組みます。新しいQuestへようこそ。お客様は、Join the Innovation™（革新的な世界への参加）に招待されました。

### 弊社のブランド、弊社のビジョン。お客様と共に。

弊社のロゴは、革新、コミュニティ、サポートという弊社の主題を表しています。この主題の重要な部分は、Qという文字で始まります。それは完全な円であり、技術的な正確さと強さへの約束を表します。Q自体の中にある空間は、不足している構成要素（つまりお客様）がコミュニティおよび新しいQuestに加わる必要があることを象徴しています。

# Questへのお問い合わせ

販売その他に関するご質問については、[www.quest.com/jp-ja](http://www.quest.com/jp-ja)を参照してください。

## テクニカル・サポート用リソース

テクニカル・サポートは、Questの有効な保守契約を締結している場合、または試用版を保有している場合にご利用いただけます。Questサポート・ポータル (<https://support.quest.com/ja-jp>) にアクセスすることができます。

サポート・ポータルには、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ・ツールがあり、24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート・ポータルでは次のことを実行できます。

- サービス・リクエストの送信と管理。
- ナレッジベース記事の参照。
- 製品に関するお知らせへの登録。
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード。
- 入門ビデオの閲覧。
- コミュニティ・ディスカッションへの参加。
- サポート・エンジニアとのオンライン・チャット。
- 製品に関する支援サービスの表示。

© 2018 日本クエスト・ソフトウェア株式会社

ALL RIGHTS RESERVED.

本書には、著作権によって保護されている機密情報が記載されています。本書に記載されているソフトウェアは、ソフトウェア・ライセンスまたは機密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアは、当該契約の条項に準拠している場合限り、使用または複製することができます。本書のいかなる部分も日本クエスト・ソフトウェア株式会社の書面による許可なしに、購入者の個人的な使用以外の目的で、複写や記録などの電子的または機械的ないかなる形式や手段によっても複製または転送することはできません。

本書には、Quest Software製品に関連する情報が記載されています。明示的、黙示的、または禁反言などを問わず、本書またはQuest Software製品の販売に関連して、いかなる知的所有権のライセンスも付与されません。本製品の使用許諾契約の契約条件に規定されている場合を除き、QUEST SOFTWAREはいかなる責任も負わず、製品に関連する明示的、黙示的または法律上の保証（商品性、特定の目的に対する適合性、権利を侵害しないことに関する黙示的保証を含む）を否認します。QUEST SOFTWAREは、損害が生じる可能性について報告を受けたとしても、本ドキュメントの使用、または使用できないことから生じるいかなる、直接的、間接的、必然的、懲罰的、特有または偶発的な障害（無期限、利益の損失、事業中断、情報の損失も含む）に対しても責任を負わないものとします。Quest Softwareは、本書の内容の正確性または完全性について、いかなる表明または保証も行わず、通知なしにいつでも仕様および製品説明を変更する権利を有します。Quest Softwareは、本書の情報を更新する一切の義務を負いません。

本文書の使用に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

日本クエスト・ソフトウェア株式会社  
宛先：法律部門  
東京都新宿区西新宿6-10-1  
日土地西新宿ビル13F

日本国内および海外の事業所の情報に関しては、弊社のWebサイト（<https://www.quest.com/jp-ja>）を参照してください。

#### 特許

高度なテクノロジーはQuest Softwareの誇りです。特許および出願中の特許がこの製品に適用される可能性があります。この製品に適用される特許に関する最新情報については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal>の弊社Webサイトを参照してください。

#### 商標

Quest、Questロゴ、Join the Innovation、およびNetVaultは、日本クエスト・ソフトウェア株式会社の商標および登録商標です。Questの商標の詳細な一覧については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal/trademark-information.aspx>を参照してください。その他すべての商標および登録商標は各社に帰属します。

#### 凡例

- **警告**：警告アイコンは、潜在的な資産の損害、個人の負傷または死亡の可能性を表しています。
- ⚠ **注意**：注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを表しています。
- i **重要、メモ、ヒント、モバイル**、または**ビデオ**：情報アイコンは、サポート情報を表しています。